

令和7年度 滋賀県「自然共生サイト説明会」開催概要

1. 日時

- 2025年12月23日(火) 13:30~16:30

2. 目的

- 自然共生サイトの制度に対する理解を深め、申請に向けた障壁を取り除くことを目的として実施します。

3. 対象者

- 生物多様性保全の活動に関心のある企業、団体
- これから自然共生サイトの登録を検討/目指している企業、団体

4. 開催方法

- オンライン形式(Web開催)

5. 受付方法

- しがネット受付サービス(下記)から申し込みをお願いします。
- 申込期限:令和7年12月19日(金)17:00まで
- QRコードアドレス
<https://ttzk.graffer.jp/pref-shiga/smart-apply/apply-procedure-alias/071223setsumeikai>



6. 内容等

タイムスケジュール(予定)	内 容
13:30-13:35 (5分)	開会、趣旨説明
13:35-13:55 (20分)	自然共生サイトの説明 滋賀県自然環境保全課
13:55-14:25 (30分)	自然共生サイトの登録申請について 独立行政法人環境再生保全機構(ERCA)
14:25-14:35 (10分)	質疑応答
14:35-14:45 (10分)	休憩
14:45-15:45 (60分)	事例紹介 上山町神明里山ともいきの会 サカタインクス株式会社 学校法人立命館
15:45-16:05 (20分)	申請に向けた支援、よくある質問回答
16:05-16:25 (20分)	全体の質疑応答
16:25-16:30 (5分)	閉会

7. 登壇者の紹介

➤ 独立行政法人環境再生保全機構(ERCA)

- ・環境省所管の独立行政法人として、公害健康被害補償・予防や環境保全活動支援、研究推進などを担ってきた。
- ・令和 7 年度から、地域生物多様性増進法に基づく自然共生サイト申請窓口業務(受付・審査・研修)を開始している。

➤ 上山町神明里山ともいきの会

- ・古く推古朝の時代から「湖東の小観」と呼ばれた古刹百濟寺の寺内村として引き継がれてきた里山景観と多様な動植物を保全していくために、30 年以上にわたる専門家の調査と自治会組織の連携を図る地域に根差した組織として、令和6年度に組織を発足。
- ・令和7年度地域生物多様性増進法に基づく自然共生サイトに 2 箇所のため池を含む里山林 4.19ha が認定を受ける。自治会関連組織単独による認定は県下初のケース。
- ・サイト内には、カワバタモロコやモリアオガエル、ジュンサイ等の希少な動植物が生息し、ハイタカやサシバ等の鳥類も飛来する。
- ・研究機関や近郊の学校、活動趣旨に賛同する事業所等多様な主体と連携し、自然共生サイトの保全のみならず、持続可能な農業や集落の維持存続を目指している。

➤ サカタインクス株式会社

- ・約 0.7ha の工場内緑地「サカタの森」が令和 5 年度後期に自然共生サイトの認定を受ける。
- ・「馴染みのある風景の創出」を設計時のコンセプトとし、植栽種を概ね現地周辺の山林(伊吹山等)に見られる樹種で構成するなど、地域植生を考慮している。
- ・サイト内で見られる在来種の保全ならびに外来種の駆除に取り組んでいる。

➤ 学校法人立命館

- ・令和 7 年の自然共生サイト認定を目指して申請を実施、審査中(12 月 5 日現在)。
- ・サイトはかつての里山の名残である二次林、草地、ため池・湿地(中間湿原)等の多様な環境から形成されている。とりわけ、湿地は開発や都市化に伴い、周辺地域でも減少傾向にある数少ない環境であり、滋賀県版レッドデータブックに掲載される希少な動植物が生息している。
- ・びわこ・くさつキャンパス(BKC)の開設から 30 年以上にわたり保全活動を実施しており、教育・研究のフィールドとしての利用、地域の子どもを対象とした環境教育の場としても活用に取り組んでいる。